

## 臨時社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成20年5月15日（木）午後2時～3時50分

2 開催場所 浦安市文化会館 3階 中会議室

3 出席者

（委員）

舟田委員長、梅澤副委員長、森委員、高橋委員、田中委員、下田委員

（事務局）

生涯学習部長、同次長、生涯学習課長、同主幹、同課長補佐、市民スポーツ課長、市民スポーツ課ゆめ半島千葉国体推進室長、富岡公民館長、美浜公民館長、中央図書館長、視聴覚ライブラリー館長、郷土博物館長、青少年センター所長、生涯学習係

4 議題

（1）前回会議内容の確認

（2）報告事項

- 1）社会教育関係団体の解散の報告について
- 2）平成19年度 事業実績報告について
- 3）第55回全日本書道展の開催結果について
- 4）仮称高洲地区公民館複合施設の進捗状況について
- 5）みんなのスポーツの集いの開催について
- 6）ゆめ半島千葉国体「第65回国民体育大会」について
- 7）平成20年度 教育施策について

（3）その他

- 1）次回会議日程について

5 議事の概要

（1）前回会議内容の確認

平成20年度臨時社会教育委員会議の議事録について確認した。

（2）報告事項

- 1）社会教育関係団体の解散の報告について  
生涯学習課長より報告した。
- 2）平成19年度 事業実績報告について  
各担当課（館）長より内容を説明した。
- 3）第55回全日本書道展の開催結果について  
生涯学習課長より報告した。
- 4）仮称高洲地区公民館複合施設の進捗状況について  
生涯学習課長より報告した。
- 5）みんなのスポーツの集いの開催について  
市民スポーツ課長より説明した。
- 6）ゆめ半島千葉国体「第65回国民体育大会」について  
市民スポーツ課ゆめ半島千葉国体推進室長より説明した。
- 7）平成20年度 教育施策について  
生涯学習部次長より説明した。

（3）その他

1) 次回会議日程について

次回の会議は、平成20年7月17日(木)の開催予定。

6 会議経過

(1) 前回会議内容の確認

平成20年度臨時社会教育委員会議の議事録について確認した。

(2) 報告事項

1) 社会教育関係団体の解散の報告について

中央フィットネスメイツ(認定番号107、認定年月日:昭和58年10月12日)から解散届が提出された件について、生涯学習課長より報告した。

2) 平成19年度 事業実績報告について

各担当課(館)長より内容を説明した。その際に表明された質問及び意見は次のとおりである。

(質問) 事業の結果と効果はどのようなかたちで確認することができるか。

(回答) 国の法律が変わり、教育関係の事業について具体的な成果を公表しなければならなくなった。どのようにするかは今後の課題。ちなみに公民館では所定の様式があり、個々の事業の計画、内容、効果が記載できるようになっている。社会教育事業は数値化し評価することは難しく、定性的な指標をどう作っていくかが課題である。

(質問) 学校・地域連携推進事業について、平成19年度は12団体への支援を行っている。平成20年度の計画では20団体を予定しているが、申請の状況はどうか。

(回答) 今年度については、現在募集が終了し、審査をしている。6月上旬には決定できると思う。

(質問) 生涯学習まちづくり出前講座は年々増えているが、増えているのはどんな講座か。

(回答) 「子育て」「保育」関係が多い。

(質問) 成人式について、参加率が前年度を下回ったのではないか。

(回答) 平成19年度は過去最高の参加率となっている。

(質問) 2回制となった初年度か。

(回答) 2回目である。

(質問) 私たちの教養講座について、講師はどのような基準で選定するのか。

(回答) 幅広く活躍されている方で、市民のニーズをふまえて選定する。今年度については未定である。

(質問) 市民体育大会などについて、人口の増加に伴って、参加者は増えているのか。新しく市民となった方が市の行事や活動に関心があるのか知りたい。

(回答) 競技によってである。特にサッカー関係は最近人気がある。従来からある野球、バレーボールは、チーム数からいうと頭打ちの状況。バスケットボールについては最近増えてきている。

(質問) 日の出中学校や明海中学校などの体育館の利用状況はどうか。

(回答) 日の出中学校と明海中学校については、総合型スポーツクラブを中心にしており、学校開放事業の対象とはしていない。他の学校では学校開放事業を行っているが、非常にいっぱい状況でどう整理していくか苦慮している。

(質問) 体育館の使用料改正について、以前から検討されていたのか。経緯を教えてほしい。

- (回答) 行政改革プランの中で、使用料については増額する方向で検討することとなっており、それに基づき、担当課で検討してきた。スポーツ施設については使用料の増額をこななかったが、新たに運動施設の整備等を行っていることや、近隣市の状況をふまえて改正を行った。
- (質問) 何年くらい据え置いていたのか。
- (回答) 施設によるが、最高で13年ほど据え置いていた。
- (質問) 公民館の使用料についてはどうか。
- (回答) 公民館の使用料も貴重な収入源となっている。現在、社会教育関係団体については認定されると使用料を免除されている。その認定団体の減免のあり方等について、今後検討を行っていく。
- (質問) 公民館の学習課題別事業の中で、「情報化・IT」「街づくり・防災・防犯」の事業数がゼロになっているが、これはどういうことか。
- (回答) 「情報化・IT」については情報政策課が担当のため、公民館の事業としては行っていない。「街づくり・防災・防犯」については、公民館では1事業30コマのプログラムとして実施しているため、事業としての対象とはなっていないが、実際の事業のコマの中では行っている。
- (質問) 対象別の事業数で、「青年(15~30歳)」を対象とした事業が全公民館でゼロになっているのはなぜか。
- (回答) 事業を企画してもこの年代の参加が少ないため。しかし、公民館を利用している青年世代の団体(ボーイスカウト、ガールスカウトなど)と協議を進め、今後こういった事業ができるのかを各公民館長で検討していく。
- (質問) 市民のニーズに的確に対応していくという観点で、事業の参加人数は前年度よりも増えているのか。また、「情報化・IT」「街づくり・防災・防犯」の分野は一般的に考えると市民のニーズが高い分野ではないか。その事業数がゼロになっているということは、市民のニーズが反映できていないことにはならないか。
- (回答) 参加人数については、平成18年度は65,212人、平成19年度は78,360人である。「情報化・IT」「街づくり・防災・防犯」の事業については、事業のコマの中で行っているが、単独で事業を行うのは難しく、自治会などと協力しながら行うことが多い。コミュニティカレッジうらやすの中で、防犯や街づくりなどの講義を行っており、公民館事業として単独で行うことの難しい事業について組み込んでいく予定である。
- (質問) 公民館の主催事業にはなじまない面があるが、コミュニティカレッジの中で取り入れる努力をするという解釈でよいか。
- (回答) そのとおりである。次年度以降は、高齢者を対象とした事業の中で防犯などの内容も取り入れるなどの工夫が必要かと考えている。
- (質問) 公民館のコミュニティカレッジと市長部局で進めている市民大学との兼合い、すみ分けはどのようにするか。
- (回答) コミュニティカレッジと市民大学では、人材の発掘・育成を目的とすることが大きく異なる。市民大学では、団塊の世代など様々な知識を持った方が地域に帰ってきたときの受け皿づくりとして考えている。今後、コミュニティカレッジと市民大学のすみ分けをどのように進めていくか見極め、両方が上手く機能できるよう企画政策課、生涯学習課、公民館で調整していかなければならない。
- (質問) 男性の団塊世代の「公民館デビュー」の状況を教えていただきたい。

- (回答) 団塊世代を意識して、コミュニティカレッジうらやすを設置した。平成17年度に公民館運営審議会から「2007年問題と公民館事業のあり方について」の答申をいただいた。特に入船・美浜地区の高齢化率が非常に高くなっており、平成20年4月1日現在の入船・美浜地区の55歳以上の割合は35.93%で、かなりの高齢化率になる。それを見込んで実際に事業を行っている。
- (質問) 学習方法別の「長期・多数回事業」の最終回のときは何か行うのか。
- (回答) コミュニティカレッジうらやすの場合は、修了証書を渡している。30回講義がある中で4分の3以上出席した場合は修了証書、4分の3に満たない場合は受講証書を渡している。
- (質問) 他市では修了証書だけでなく、これを重ねてその市の中で認定をし、講師として登用しているという。そういったことは考えているか。
- (回答) 横須賀市などで行っていると聞いているが、講座の前段階から講師として養成するような講座を設けている。コミュニティカレッジでは、福祉・スポーツなどの講座、趣味的な講座、市の状況がわかる講座というような内容になっている。講師として育てるためには、事業の見直しを行い、講師を養成するように変更しないと講座を受けている方が混乱するのではないかという懸念がある。
- (意見) 市の仕事の受け皿的な講座を設けていくと、知り合いも増えていくのではないだろうか。
- (回答) 市民大学との連携を図りながら、市として考えていく必要がある。
- (意見) 名作映画鑑賞会に出た際に、8月に行われる記念事業の内容についてのアンケートがあり、市民としてとても嬉しく感じた。
- (質問) 創業支援セミナーとは、どのようなものか。
- (回答) 商工観光課、商工会議所と合同で行っている事業。創業予定者に対して、創業するために必要な知識やノウハウなどを教えるセミナーである。4日間連続で2回行った。
- (質問) 非核平和都市宣言記念事業の参加者が空欄なのはなぜか。
- (回答) 館内での展示なので、この事業だけの参加人数が分からないため。
- (質問) 博物館休日体験事業の「ねつけ」とは何か。
- (回答) 昔の装飾品である。
- (質問) 補導活動の回数は、どのようにカウントされているのか。
- (回答) いくつかのパトロールがある。中央パトロールは補導員と職員とで計画的に行うもので、午前・午後・夕方・夜に分けて、61回行った。地区パトロールは補導員が中学校区に分かれ、自主的に計画して行う。下校パトロールは職員が各学校の下校時間に合わせて行う。そのため、1日に2～3回パトロールを行うこともある。
- 3) 第55回全日本書道展の開催結果について**  
5月2日(金)～5日(月)に開催された第55回全日本書道展の開催結果について、生涯学習課長より報告した。
- 4) 仮称高洲地区公民館複合施設の進捗状況について**  
仮称高洲地区公民館複合施設の進捗状況について、生涯学習課長より報告した。
- 5) みんなのスポーツの集いの開催について**  
6月7日(土)に開催されるみんなのスポーツの集いについて、市民スポーツ課長より説明した。

**6) ゆめ半島千葉国体「第65回国民体育大会」について**

平成22年に開催されるゆめ半島千葉国体「第65回国民体育大会」について、市民スポーツ課ゆめ半島千葉国体推進室長より説明した。

**7) 平成20年度 教育施策について**

平成20年度の教育施策について、生涯学習部次長より説明した。

**(3) その他**

**1) 次回会議日程について**

次回の会議は、平成20年7月17日(木)の午後2時から中央公民館で開催する予定である。

以 上